

秋田県名誉県民 山崎 貞一 氏 功績



生年月日 明治42年8月5日生

顕彰年月日 平成元年9月25日

【功績】

昭和13年東京電気化学工業株式会社に入社、フェライトの製品化に専念する。

昭和15年常務取締役として経営に参画、昭和21年創業者斎藤憲三氏の後を受け、取締役社長に就任、以後40年余りにわたり会社役員として幾多の困難を克服し、フェライトの応用部品の開発を推進した。フェライトは、家庭電化製品からエレクトロニクス機器に至るまで幅広く活用されることとなり、エレクトロニクス産業をはじめとする我が国産業の飛躍的発達に大きな貢献をした。

この間、由利郡仁賀保町に平沢工場を建設したのをはじめ、県内に工場建設を推進し、本社工場は7、サテライト工場・協力工場は60社となっており、その年間出荷額は1,300億円、従業員数は14,200人(数字はいずれも平成元年の顕彰時)を数えるまでになるなど、本県における電気機械産業の牽引車として県内産業の発展に多大な貢献を果たしている。

一方、「財団法人斎藤憲三顕彰式」の設立に当たっては多額の私財を拠出し、その基金により県内小・中学校及び高等学校に多額の科学研究費を贈り、次代を担う子供たちの科学教育に力を注いでいるほか、科学教育の振興のため各種事業を展開している。

このように、氏の我が国と我が県の産業の発展と創造的研究の奨励等に尽くした功績は極めて大きく、県民ひとしく誇りとしてやまないところである。

これらの数々の功績により、氏は昭和54年勲二等瑞宝章受章の栄に浴した。